

令和3年度小学校外国語のための  
専門人材育成・確保事業  
第4回講座

聞くこと・話すことの指導 LESSON 1

---

2021年8月3日

9:30-10:40

WEB研修

玉川大学大学院 教育学研究科 佐藤 久美子

## ◇ 自己紹介

- ・ 専門：子どもの言語獲得・発達研究（日本語+英語）  
英語学・英語教育  
玉川大学に長年勤務-小・中・高校の教員多数輩出  
現在、小学校・教育委員会にて研修・講演  
例：東京都・京都府教育委員会、中央区・板橋区・  
葛飾区・中野区・東村山市などの小学校、他多数
- ・ NHKラジオ「基礎英語 2・3」 2016年まで8年間講師
- ・ 2013年～現在に至る NHK Eテレ「えいごであそぼ」  
「えいごであそぼ with Orton」 総合指導
- ・ 2017年～現在に至る NHK Eテレ「エイゴビート」  
「エイゴビート2」 監修 木9:55-10:05/金3:45-3:55

## 著書：場の必然性と辞書を用いた授業

『イラスト図解小学校英語の教え方25のルール』

『新レインボー小学英語辞典』（学研）



## ◆ 『新レインボー小学英語辞典』 (学研・佐藤監修)



- ・ 英和・和英・絵辞典の合本版
- ・ フレーズ p.530 スピーチ例

例：自分の町

This is my town.

It's famous for its grapes.

There is a zoo.

It's a nice town.

fruit, beach, waterfall  
stadium, big park,  
famous shrine

## 例：小学校の思い出

My best memory is the school trip.<sup>1</sup>

We went to Nikko.<sup>2</sup>

We saw the beautiful shrines.<sup>3</sup>

I really enjoyed it.

1. sports day, field trip, music festival

2. enjoyed dancing, went to the river, played the recorder

3. had lunch together, saw beautiful flowers, practiced a lot

◎基本文を応用して、自分の言いたいことを伝える

# Lesson 1 概要

## 聞くことの指導についての質問

- ① 「聞くこと」に関する基礎的な指導法
- ② 「聞くこと」の具体的な評価方法
- ③ 相手の話す内容を予測しながら聞く力の育て方
- ④ Classroom Englishにつながる語彙の拡大
- ⑤ All Englishで授業を行うメリット
- ⑥ 母語にない音声、聞いた音を再現する方法
- ⑦ 教師のsmall talkやデジタル教材の活用など、聞き取る工夫
- ⑧ 少しずつ変化を持たせながら繰り返し聞いて表現に慣れる工夫

## 話すことの指導についての質問

- ① 「話すこと」に関する基礎的な指導法
- ② 「話すこと」の具体的な評価方法
- ③ 児童の発話を増やすための手立て
- ④ 会話を継続させる力を身に付ける継続的な活動例
- ⑤ 単元ゴールとして設定するcommunication活動例
- ⑥ 児童が英語で対話できるための指導の段階

- ・ 「聞くこと・話すことに共通した」質問
  - ・ それ以外の質問
- ① 学びのまとめりとしての効果的な単元構成例
  - ② 「聞くこと」「話すこと」の具体的な評価方法
  - ③ Small Talkを生かした4技能を取り入れた授業の効果的な指導方法の具体例
  - ④ 1人1台端末の効果的な活用場面



## 聞くこと・話すことのレッスン 共通質問

- ① 学びのまとめりとしての効果的な単元構成
- ② 「聞くこと」「話すこと」の具体的な評価方法

# ① 学びのまとめりとしての効果的な単元構成

時間	1	3	5	6 7 8
指導のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元の目標や学習の内容を知り、ゴールイメージを持つ。</li> <li>→ゴールは毎回明確にする。</li> <li>→授業構成は一定にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おすすめの国を紹介するために、簡単な語句や基本的な表現を用いることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おすすめの国や地域が勧められる理由を簡単な語句や基本的な表現を使って説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手に分かりやすいように旅行の案内ができる。</li> <li>自分の知りたい情報について質問ができる。</li> <li>簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの情報や考え方などを伝え合える。</li> </ul>
授業のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の有名な建物や食べ物などについてのやり取りのおおよその内容を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの考えや気持ちなどを伝え合う技能が身に付いている。簡単な語句や基本的な表現を用いることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレットを使って、おすすめの国についてまとめ紹介することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おすすめの国についてCMを作って発表する。</li> <li>タブレットを使っておすすめポイントを紹介したり、質問に答えたりする。</li> <li>なぜ選んだのかを説明できる。</li> </ul>
学習活動	<ol style="list-style-type: none"> <li>Greeting</li> <li>Warm-up 気分・調子、日にち、曜日、英語ビート</li> <li>Small talk</li> <li>Today's goal 国の名前や言い方を覚えよう。</li> <li>Activity ・Flash card ・key word game ・Bingoゲーム 単語：国 ・Starting Outでおおよその流れを知る。ゴールの活動の確認をする。</li> <li>Reflection</li> <li>Closing</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>Greeting</li> <li>Warm-up 気分・調子、日にち、曜日、英語ビート 単語：国、動作の単語 ・Flash card ・Look at the pictures (I can see~)</li> <li>Today's goal おすすめの国の有名なものを地図帳やタブレットで調べて尋ね合おう。</li> <li>Activity ・Let's try 3 調べたことを使って、友達と尋ね合う。</li> <li>Reflection</li> <li>Closing</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>Greeting</li> <li>Warm-up 気分・調子、日にち、曜日、英語ビート、単語：国、動作の単語 ・ドイツじゃなくてGermany</li> <li>Small talk すぐろく</li> <li>Today's goal CMを作成しよう</li> <li>Activity ・「I Movie」を活用してCMを作成する。 ・完成したCMで発表の練習をする</li> <li>Reflection</li> <li>Closing</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>Greeting</li> <li>Warm-up 気分・調子、日にち、曜日、英語ビート</li> <li>Today's goal オリジナルツアーのやりとりをしよう。</li> <li>Activity ・CMを使って紹介する。</li> <li>Presentation ・Power Pointのスライドを使って紹介する。 ・オリジナルツアーを案内する。</li> <li>Reflection なぜそのツアーを選んだのか紹介する。</li> <li>Closing</li> </ol>

- (1) 授業構成を一定にし、「やり取り」の多い授業
  - Warm-up → Practice → Activity → Presentation
  - 4技能5領域：聞く 話す（やり取り・発表）  
読む 書く
- (2) 明確なめあて：見通しが持て、Goalが明確  
最終的な発表を意識した授業づくり
- (3) 対話的な必然性のある場面を導入  
Small Talk/Oral Introductionでめあてを見せる
- (4) CLIL（教科横断的な）学習の導入
  - 小学校における調べ学習を取り入れる→  
対話的な深い学びへ

## ■ 授業の流れは一定に

- 単調？ – NO！
- 発達段階に応じて工夫ができる
- ① Greeting: 1年 Hello Song 2年 あいさつをする  
3年以降 あいさつ/様子/曜日/天気
- ② Warming up(Practice): Story time/Small Talk  
Chants/Songs
- ③ Small talk(Today's Goal): HRT/ALT/JTE  
モデル会話
- ④ Activity : 必然性up (状況設定)
- ⑥ Presentation : 言語活動のまとめ
- ⑦ Review (振り返り) : 児童の発話から学ぶ

# ① Greetingsの例

HRT: Good morning, class.

SS: Good morning, Mr./Ms. Suzuki.

HRT: How are you today?

SS: I'm fine/happy/ hungry/sleepy...

HRT: I'm great! Let's start our English class.  
What's the weather like today?

SS: It's sunny/cloudy/ rainy/ snowy...

HRT: What day is it today?

SS: It's Monday.

HRT: What's the date today?

SS: It's February 4<sup>th</sup>.

HRT: Let's spell out Monday/February.

➡ ノートに書く (発達段階に応じて)

## ② Warming up: songs

- 小学校低学年：

歌えなくても、歌が楽しい！

何を歌っても楽しい→CD/DVDが必要

- 小学校中学年：

歌詞があると歌える傾向

意味が分からないとつまらない

→歌詞が必要

- 小学校高学年：

「歌えた！」と感じるほど楽しい。

→歌詞が必要、子どもっぽい曲はダメ

→今後のお勧め エイゴビート、英語版パプリカ、など

# Let's sing Eigo Beat Song



NHK



11月  
12日



### 3 Small Talk

- 目標表現の導入・学習のめあての理解
- 担任とALTのモデル会話紹介
- 児童のよるSmall talk Q④. 会話を継続させる力を身に付ける継続的な活動例

例：“1分間話してみよう！”

Do you like sushi? – Yes, I do.

例：“給食中にALTと会話” Where are you from?

「いただきます-ごちそうさまでした」

- 高校生でも毎日Small talk⇒会話の持続力、即興性がアップ



It's a vegetable. It's orange.

It's round. It's a candle.

## ■ 授業の流れは一定に

- 単調？ – NO！
- 発達段階に応じて工夫ができる
- ① **Greeting**: 1年 Hello Song 2年 あいさつをする  
3年以降 あいさつ/様子/曜日/天気
- ② **Warming up(Practice)**: Storytime/Chants/**Songs**
- ③ **Small talk**(Today's Goal): HRT/ALT/JTE  
モデル会話 (Goalを示す) 継続的な会話を促進
- ④ **Activity** : 必然性up (状況設定)
- ⑤ **Presentation** : 言語活動のまとめ
- ⑥ **Review** (振り返り) : 児童の発話から学ぶ

# ■ 外国語科の目標は共通

## 「言語活動」の設定・「言語活動を通して」

### 外国語活動

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### 小学校外国語科

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### 中学校外国語科

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

### 高等学校外国語科

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

Question Time: 言語活動とはどんな活動を指しますか？

## 4 「言語活動」とは

「実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う」活動

コミュニケーションの  
目的や場面、状況などの設定

### ● 練習と区別が必要

- 英語を用いているが、考えや気持ちを伝え合うという要素がない活動  
(発音練習や歌、ゲーム、リスニング、英語の文字をひたすらに書く活動)

「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック」(文部科学省 平成29年6月)より

# 言語活動はどんな時に高まる？

- ③児童の発話を増やすための手立て
  - ⑤単元ゴールとして設定するcommunication活動例
  - ⑥児童が英語で対話できるための指導の段階
1. 必然的な場面で
  2. 友達に英語を使って発表するという具体的なゴールイメージがあり
  3. 身近なトピックを扱い
  4. 自分の思いや考えを自由に表現できる時に高まります。（自由度が高い）

## ■ 必然性のあるPresentation

★事前課題【Rule 16】「必然的な場面とはどんな場面ですか？」

- We can! 5年 L. 2 When is your birthday?
- 行事・誕生日

- 目標表現：When is your birthday?

登場人物の誕生日を聞いて、線で結ぼう→Practice(練習)

●単元ゴールとして設定するcommunication活動例

- A: When is your special day?  
B: My special day is January 17<sup>th</sup>.  
It's my mother's birthday.



# わたしの大事な日

## ★事前課題

## 【Rule 18】発表はShow and Tellで楽しく

# My special day!!

名前( )

1 January	2 February	3 March	4 April
--------------	---------------	------------	------------

5 May	6 June	7 July	8 August
----------	-----------	-----------	-------------

9 September	10 October	11 November	12 December
----------------	---------------	----------------	----------------

1	2	3	4	5	6	7	8
---	---	---	---	---	---	---	---

9	10	11	12	13	14	15	16
---	----	----	----	----	----	----	----

17	18	19	20	21	22	23	24
----	----	----	----	----	----	----	----

25	26	27	28	29	30	31
----	----	----	----	----	----	----

聞き手    ウエイ    イズ    ヨア    スペシャルデー

自分のたいせつな日、友だちに知ってもらいたい日を絵にかこう!!



英語で書いてみよう

July

(月)

7

(日)

何の日?

骨を折った日

## ■ 言語使用場面の例—身近な場面 ★事前課題【Rule20】

小学校3, 4年生/5, 6年生

言語の使用場面：児童の身近な暮らしに関わる場面

- ・ 家庭
- ・ 学校
- ・ 地域の行事
- ・ (子供の遊び)

特有の表現が使われる場面

- ・ 挨拶
- ・ 自己紹介
- ・ 買い物
- ・ 食事
- ・ 道案内
- ・ 旅行

中学校

言語の使用場面：生徒の身近な暮らしに関わる場面

- ・ 家庭での生活
- ・ 学校での学習や活動
- ・ 地域の行事など

特有の表現が使われる場面

- ・ 自己紹介
- ・ 買い物
- ・ 食事
- ・ 道案内
- ・ 旅行
- ・ 電話での対応
- ・ 手紙や電子メールでのやり取り など

『小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編』

『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編』より



## ■必然性のあるActivityと発表を導入する

Let's Try ! 2 Unit 5 Do you have a pen?

「お勧めの文房具セットをつくろう」

- Activity 文房具セットを作って、友だちにおくろう。  
→ふでばこの中身は、意外性がない⇒必然性が欠如
- 聞いてみたいことを聞く
- 意外な答えが返ってきたら、知っている英語を使って reactionを取ったり、既習表現を使い、さらに聞きたいことを質問してみる→自由度が高い！

Question Time: 今日の参加者に聞いてみたい、  
Do you have ~ ?は何ですか？

## 発展性・応用性がつく

A: Do you have a comic book?

B: Yes, I do.

A: **How many**? (Let's Try! 1 Unit 3既習)

B: 50 books.

A: Really? /That's nice!/Wow! I have 10 books.

◎ Do you have ...? (目標表現) + **How many?**

**What color?** (既習表現) /Reaction

→主体的にコミュニケーションが見られ、言いたい、聞きたい思いが高まる

### Q⑥児童が英語で対話できるための指導のステップ

- ・教科書の基本的な目標表現の練習 → 児童が聞きたいこと、話したいことをゴールに → Reaction、既習表現を**プラス**

## ② 「聞くこと」「話すこと」の 具体的な評価方法

# 「指導と評価の一体化」のための学習 評価に関する参考資料 2020年3月

- 小学校 外国語・外国語活動

- 文部科学省 国立教育政策研究所

National Institute for Educational Policy  
Research

- 教育課程研究センター

## ◇はしがき 「指導と評価の一体化」

- 2020年4月施行の学習指導要領全面实施

① 「知識及び技能」

② 「思考力, 判断力, 表現力等」

③ 「学びに向かう力, 人間性等」

目標の3観点

- どのような資質・能力の育成を目指すのか
- 「子供たちにどのような力が身に付いたか」  
学習成果を確認
- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 「指導と評価の一体化」
- Plan(計画) ⇒ Do (実行) ⇒ Check (評価) ⇒ Action (改善)

# 第1章 学習評価の改善

- ① 「観点別学習状況の評価」：複数の観点ごとに分析する評価、各学校で評価規準が必要
- ② 「評定」（上記を相対的に捉える）
- ③ 「個人内評価」（観点別学習状況の評価や評定には示しめしきれない児童の良い点、可能性、進歩の状況

## ■ 小学校児童指導要録

- ・ 観点別学習状況

「十分満足できる」 A

「おおむね満足できる」 B

「努力を要する」 C

- ・ 評定（第3学年以上）（中学校では5・4・3・2・1）

「十分満足できる」 3

「おおむね満足できる」 2

「努力を要する」 1

- ・ 個人内評価：上記の評価で示しきれない良い点や可能性、  
進歩の状況

- ・ 外国語活動について：評価の観点を記入した上で、児童の  
学習状況に顕著な事項がある場合にその特徴を記入。児童  
にどのような力が身に付いたかを文章で端的に記述。

## ■学習評価の場面や方法の工夫/過程や成果を評価

【知識・技能】 ▲ペーパーテストで知識の習得を問う

- 概念的理解を問う問題とのバランスが必要

例:文章による説明、観察・実験、式やグラフで表現→多様に

【思考・判断・表現】 ペーパーテスト、レポート作成、発表、グループでの話し合い、作品の制作や表現、ポートフォリオ

- 思考・判断・表現する場面を効果的に設計→多様な場・時

【主体的に学習に取り組む態度】 ▲積極的な発言・行動面の評

- ノート等の記述、発言、行動観察、自己・相互評価

◎意志的な側面を評価

- ①知識や表現力などを身につけようとする粘り強い取り組み
- ②取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面



## ◆小学校外国語の「内容のまとめり (5つの領域)」

- 4技能5領域
- 聞くこと・読むこと・話すこと（やり取り）・話すこと（発表）・書くこと

## ○ 聞くこと

ア ゆっくりはっきり話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について簡単な語句や基本的な表現を聞き取れることができるようにする。

イ ゆっくりはっきり話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報<sup>1</sup>を聞き取ることができるようにする。

ウ ゆっくりはっきり話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。

## 聞くこと

- ・ 知/技-誕生日・欲しいものを聞き取っている
- ・ 思/判/表-相手のことをよく知るために具体的な情報を聞き取ろうとしている
- ・ 主体的態度-思/判/表に同じ

A: When is your birthday?

B: My birthday is May 25.

A: Oh, your birthday is May 25.

My birthday is May 23.

B: Really?

A: What do you want for your birthday?

B: I want a bike.

A: You want a bike. I want a watch.

Aの評価: (知/技)  $b \rightarrow a$   
 (思/判/表)  $b \rightarrow a$   
 (主体的態度)  $a$   
 Bの評価: (知/技)  $b$   
 (思/判/表)  $b \rightarrow a$   
 (主体的態度)  $b$

## ○ 話すこと【やりとり】

- ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり<sup>1</sup>、それらに応じたりすることができるようにする。
- イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。
- ウ 自分や相手のこと及び身の回りのものに関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして<sup>2</sup>、伝え合うことができるようにする。

1 これが「言語の働き」と呼ばれる例。Can-do listとも言われ「～ができるようになる」というリスト。

- (指示・依頼の例) Come here, please.

I'd like spaghetti.

(3, 4年は挨拶・感謝・簡単な指示・相づち・礼を言う・褒める・事実・情報を伝える・説明・答える・申し出・意見を言う・質問・依頼・命令など)

(5, 6年は増えている：呼び掛ける・聞きなおす・繰り返す・謝る・報告・発表・賛成・承諾・断る)

2 「特有の表現がよく使われる場面」

- 挨拶
- 自己紹介
- 買い物 (例：How much is the bag?- It's five hundred yen.)
- 食事 (例：What would you like?-I'd like pizza.)
- 道案内
- 旅行

## ○ 話すこと【発表】

- ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や**基本的な表現**を用いて話すことができるようにする。
- イ **自分のこと**について、伝えようとする**内容を整理**した上で、簡単な語句や**基本的な表現**を用いて話すことができるようにする。
- ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の**考えや気持ち**などを、簡単な語句や**基本的な表現**を用いて話すことができるようにする。

# 慣れてきたら音声や態度にも注意させる

- 英語の単語や文では、強くアクセントをつける部分がある。
- 例 : banana December I go to school.  
What do you want?
- Are you a student? ↗ I like apples. ↘
- Eye contact, clear voice, 姿勢などに気を付けて発表。

# 話型

A: Where do you want to go?

B: I want to go to ①France. (Italy)

A: You can see ②the Eiffel Tower.  
(soccer games)

(You can eat ③crepes. (pizza))



# 必然的な場面で発表 例：旅行社を訪ねる

A: Where do you want to go?

B: I want to go to France.

A: You can see the Eiffel Tower.  
You can eat crepes.

B: Thank you. I want to go to France.

Aの評価: (知/技)	b→a
(思/判/表)	b
(主体的態度)	a
Bの評価: (知/技)	b
(思/判/表)	b
(主体的態度)	b

単元や題材のまとめ⇒授業改善

- ・自身の学びや変容を自覚できる場面（毎回発表）
- ・対話によって自分の考えを広げたり深めたりする場面
- ・児童が考える場面と教師が教える場面（学びの共有）



## ■【Script + $\alpha$ 】は明日の評価にもつながる

- ・発表 (speech/presentation) 中学校で

Who is your hero?でライティング:

- ・いろいろな文 (既習表現) を使おう
- ・ 8文 = B    ・ 6文以下 = C    ・ 10文以上 = A

小学校でも参考になる⇒評価を共有

- ・ 文の数 (目標表現+ $\alpha$ )、Reaction、感想など…

● 学習評価の妥当性や信頼性を高める、児童生徒自身に学習の見通しを持たせる

⇒ 学習評価の方針を事前に児童生徒に共有

⇒ 様々な機会を捉えて保護者と共通理解を図る

## ■中学校で行われているパフォーマンステスト

★事前課題【Rule22】「話すこと」ではパフォーマンステストを意識！

- 音読テスト：First learnersに人気
- 自己紹介スピーチ
- 友だち/家族紹介スピーチ：First learnersに人気
- インタビューテスト：Slow & First learnersに人気  
Summer Memories/Memories in Kyoto/Japanese culture ALTと話せる
- スキット・パフォーマンス（Telephone/Shopping/ Asking the Way）：Slow learnersに人気
- Story Retelling：Slow learnersに人気
- スピーチを暗記（I have a dream.）
- バラエティのあるパフォーマンス/多角的な評価  
（坪田裕希修士論文より）

# 質疑応答